

に一箇寺あるのみ。江西省は比較的少なし。河南省、直隸省共に回教徒の住するもの甚だ多く、到る處に之を見ざるは無し。其内最も盛んなるは、通州にて二萬以上の信者あり。其他白河沿岸一帶に多し。

元來清兵は無賴漢の應募入營する者にして、而かも回々教は、多く窮民間に行はれ、支那に於ける回教は、殆んど貧民占有物の觀を呈し、教會堂は、恰も貧民の集合所に似たり。故に清兵に回教徒の多きは當然なりとす。兵營既に回教の中心たれば、其の變亂ある、復た恠むに足らず。他の社會の人々は回教徒と交際するも、宗教上の事には、一切立入らざるの嚴制あり。且つ支那官吏は位三品に至れば、皆回教を脱するを常とせり。然るに回教の中心たる通州にては、提督某、回教信者なりと聞く、豈に奇觀ならずや。

北京に於ては、小商人、露店者、車夫、兵丁其他下層人民の大部は、皆回教徒にて、城外一千餘戸の市街、悉く回教徒なりと云ふ。又北清、滿洲等にも行はれて、支那全部今や約三千萬以上の回教民ありと稱へらるゝに至つては、驚かざるを得ず。

回々教の總本山は、亞刺比亞國のメツカ市に在り、而して新疆省内に於ける靈場

清兵と回教

官吏と回教

支那全部の回教徒數

新疆の靈場